

平成27年度 事業計画

1. WAC事業（公益目的事業・その他事業1・その他事業2）

*WAC(ウェルビーイングコミュニティ)事業:

平成元年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

○公益目的事業 : WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営

○その他事業1 : 疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者(全利用者の3割相当)に該当する部分

○その他事業2 : 在宅介護サービスセンターのサテライト拠点(奈良事業の奈良店)
老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター(奈良事業のみ)

(1)奈良事業

(厚生労働省WAC認定事業 : H2. 10. 17 付)

①疾病予防運動センター (WAC第1号施設)

【ニッセイ・アーク西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・新規入会会員獲得のために、地元2キロ圏での新聞折り込み広告、パーソナルトレーニングの外部告知、会員からの紹介入会の促進を図り、中高年齢層をターゲットとした当施設の特長をPRします。
- ・会員のニーズに対応したスタジオ・プールプログラムの充実・更新を図り、会員数の維持・安定を目指します。

②診療所 (WAC第1号施設付置診療所)

【ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・河合町保健事業への協力や、近隣医療機関と連携した地域住民の受託検査、特定健診、予防接種の実施、献血活動の協力など、地域住民の疾病管理、健康増進等を推進します。
- ・整形外科外来を再開するとともに、利用者一人ひとりの「健康管理」「健康づくり」を支援します。
- ・緩和ケアの理解を深め、本人が望むトータルケアとしての看取りを実践するとともに、在宅事業、老健事業との連携を強化し、医療面でのサポート体制を充実させます。

③高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設)

【ふれあいプラザ】

○地域社会との連携・交流

- ・生きがい・仲間作り、社会学習への参加促進を目指してクラシック音楽や生涯学習をテーマに伝統芸能の新規講座を開講するとともに、地域とのネットワークづくりを意識して活動します。
- ・河合町立文化会館まほろばホールとの連携を強化し、「地域のゆしみ」の発信基地として活動します。

④在宅介護サービスセンター [訪問介護、福祉用具貸与・販売事業、居宅介護支援事業]

(WAC第3号施設)【ニッセイいれい在宅介護サービスセンターヘル西大和店・奈良店】

○地域社会との連携・交流

- ・ヘルパー登録者や喀痰吸引研修修了者を増やし、近隣地域の利用者を更に獲得できる体制作りとケア・サービスの質の向上を目指します。
- ・訪問看護等他の在宅事業との連携が取りやすい特長・強み、地域包括支援センター・居宅支援事業者との連携、また福祉用具事業の拡大を図り、更なるサービスの充実に努めます。

⑤訪問看護ステーション [訪問看護事業] (WAC第3号関連施設) 【訪問看護ステーション西大和・奈良】

○地域社会との連携・交流

- ・近隣医療機関や複合施設としての連携を図るとともに体制を強化し、訪問エリアの見直し・拡大を検討します。また、利用者の多様なニーズに対応したサービスを提供します。

⑥ケアプランセンター [居宅介護支援事業] (WAC第3号関連施設)【ニッセイいれいケアプランセンター西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・介護保険改正に対応しながら、ご利用者・ご家族・地域から、より信頼される事業所を目指します。
- ・当センターが中心となり、河合町や管内各事業所との地域防災の取組みを継続します。

⑦有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業] (WAC第4号施設)【奈良ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・地域連携を深める為に活動している「地域連携グループ」を中心に地域住民との交流を深めるとともに、近隣市町村の介護・予防事業へ積極的に参画し、地域貢献を推進します。
- ・地域防災拠点の体制づくりを目指し、災害対策の整備を推進します。
- ・地域における「介護サービス」の拠点および「学び」の拠点となるための活動を推進します。
- 入居者一人ひとりのその人らしい生活を支えるトータルケアサービスを実践します。
- 『健幸生活』を送れる仕組みを作り、介護予防を推進します。
- 食事サービスの充実を図り、喫食率の向上に努めます。
- 財団本部と園が一体となり、必要な住み替えを迅速に実施するとともに、今後も入居者募集機能を強化することで入居待機者を確保し、安定した運営を図ります。
- 感染対策の徹底とコンプライアンスを意識した運営を図ります。

⑧老人保健施設 [介護老人保健施設、通所リハビリテーション、短期入所療養介護]
(WAC付帯施設)【奈良ベテルホーム】

○地域社会との連携・交流

- ・複合施設の特長を生かし、他の在宅事業との連携を強化し、在宅と当施設の両方での生活の安心・安全を目指し、利用者の満足度向上を実践します。
- ・高齢者福祉の理解を広げる為の交流会の実施や地域ボランティア活動を支援することにより、高齢者のアクティブライフの向上に努めます。
- ・河合町・地域との連携を強化し、地域住民への介護講座等の地域支援事業に積極的に参画します。

○複合施設の強みを活かした渉外活動を強化し、利用者を積極的に受け入れ、経営の安定化を図ります。

○利用者一人ひとりの生活を支えるためのトータルケアサービスを実践し、リハビリやケアサービスの質・安全・効率の向上を図ります。

(2) 松戸事業 (厚生労働省WAC認定事業：H6.12.15付)

①疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイトラフィットスクラブ 松戸】

○地域社会との連携・交流

- ・地域での認知度アップを図り、新入会員への「初めてサポート」システムの強化とレッスンプログラムのリニューアルにより、在籍会員数の拡大を図ります。
- ・「ニッセイ松戸アカデミー」と連携し、参加型イベントの充実を図ります。

②診療所 (WAC第1号施設付帯診療所) 【松戸ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・高度医療機器 (CT) 導入に伴い、さらに地域の医療機関と連携し、継続して地域医療を支えるとともに、健診事業やインフルエンザ予防接種等の予防・啓発活動を行います。
- 専門看護師および認定看護師を中心に「ご入居者の満足に繋がる医療・看護のサービス提供(看取りまで)」を目指し、医師、看護師と医療及び介護スタッフとの連携強化に努めます。

③高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設) 【ニッセイ松戸アカデミー】

○地域社会との連携・交流

- ・今後進んでいく入居者の新旧交代に対応し、かつ地域住民との交流の場としての体験教室など教室の新たなニーズを探っていきます。
- ・地域住民・入居者向けコンサート等のイベント内容および開催方法を見直し、さらに魅力あるイベント開催を目指します。
- ・園の紹介記事を増やした地域向け広報紙を継続発行し、情報発信機能の充実に努めます。

④在宅介護サービスセンター [訪問介護事業] (WAC第3号施設) 【ニッセイ介護ヘルプステーション】

○地域社会との連携・交流

- ・介護保険改定における日常生活支援総合事業に参画し、「地域にもとめられる事業所」をテーマに、地域の医療機関および介護関連諸施設との連携のもとに、地域に根ざした役割を再構築します。
- ・利用者のニーズを的確に把握・対応できる事業所を目標に、専門性の高いスタッフを育成します。

⑤有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業] (WAC第4号施設)【松戸ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・介護予防や認知症対応、入居から看取りまでを支えるトータルケアの実践とその研究発表を、周辺地域のみならず広く啓発推進します。
- ・松戸市からの一次避難所指定を受けて地域防災の活動を積極的に進め、地域に貢献します。

○「健老長寿」というビジョンのもと、各課の協力と情報の融合により園内の各サービスの質の向上と充実に取り組み、入居者の安心と生きがい向上を図ります。

○食事サービス向上の一環として、夕食時のアラカルトメニューの導入や治療食の質の向上により、入居者の食事満足度向上と喫茶・売店のさらなる充実を図ります。

○入居者募集活動では、全職員が募集担当としての意識を持つとともに、入居者の理解と協力のもと、入居者募集イベントを充実・拡大し、新規見学者、体験入居者の増加に努めます。

○個人情報の取扱い等コンプライアンスの徹底と施設内の感染症予防・集団感染防止等のリスク管理の強化に引き続き取り組みます。

○入居者の協働・参画を得ながら、園全体で環境・省エネ活動を推進します。

2. 調査研究事業(公益目的事業)

(1) 地元行政機関等と連携した地域住民への高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関する情報提供

○奈良施設・松戸施設の立地する奈良県・河合町や松戸市等と連携し、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーの開催を通じ、地域住民への情報提供の取組みを継続します。

- ・河合町等との共催による健康に関する情報提供等のイベントの開催
- ・松戸市立福祉医療センターと連携した健康に関するイベントの開催

(2) WAC事業の展開の中で、4分野に関するノウハウ・スキルの研究と成果の関係諸機関への情報提供

○WAC事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施します。

- ・「地域の多様性を活かした高齢社会におけるまちづくりの方策の検討」をテーマに継続的な調査研究として、地域の開業医・自治会・町会・NPOとともに、高齢化率の高い地域における住民の見守り体制づくりのプロセス検証、及び見守り体制の核となり地域の高齢者の生活を支える「サロン」のモデル化と運営手法のマニュアル化に重点を置いた実践的研究に取り組みます。

○奈良施設・松戸施設の各職場内で4分野を題材にした調査研究並びに発表会(高齢者福祉学会)を開催し、その研究成果について介護・福祉関係機関や専門学校等への情報提供に努めます。

< 社会福祉法人聖隷福祉事業団との共同研究 >

(3) 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

○奈良施設・松戸施設内において、11月の「介護の日」にイベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続します。

○有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、高齢期の住まいをテーマにしたイベントを開催します。

3. 奨学金助成事業(公益目的事業)

○介護福祉士・理学療法士・作業療法士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給します。